GX率先実行宣言

社会全体のGX加速化に向けて、GX製品・サービスの早期社会実装が極めて重要であることから、当社は自らのScope 1、2の削減取組に加え、これらの製品・サービスが有するGX価値の評価を通じてGX製品の社会実装に積極的に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進することを宣言します。

1.早期の社会実装に貢献するGX製品

当社は、以下に関連するGX製品の早期社会実装に貢献します。

a.	分類	産業競争力基盤強化商品
	対象	グリーンケミカル
b.	分類	GI基金支援技術を活用した製品
	対象	次世代型太陽電池の開発

2.具体的な行動内容

当社は、前項で選択した事項に関連して、具体的には以下の行動を推進することで、GX製品の早期社会実装と社会のGXに貢献します。

a.	グリーンケミカル
対象行動	最終製品・サービスの購入・販売
概要	自動車分野、家電分野、包装材分野における、化学品、合成樹脂、合成ゴム関連の仕入・販売商売において、各関係者と協業、グリーンケミカル（各種基礎化学品）の積極的調達を行い、最終需要家に対して同由来製品の採用を促進していく

b.	次世代型太陽電池の開発
対象行動	中間・最終製品製造
概要	ペロブスカイト太陽電池製造における構成部材、最終製品の積極的調達・販売を通じて、エネルギー製造時の炭素排出回避に貢献

3.サーキュラーエコノミーの推進

当社は、サーキュラーエコノミーを推進しGXを実現するため、自らのサーキュラーパートナーズ（CPs）への参画や、製造業者と廃棄物リサイクル業者との事業連携を自ら進めるとともに、再生材の調達を積極的に検討することによって、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システムの構築を目指します。

4.温室効果ガス削減目標の設定

当社は、サプライチェーン全体でのGXを推進すべく、Scope3の削減に向けて以下の目標を設定します。また、第2項に記載した行動内容が、Scope3の削減に対してどのような効果があるかを以下に示します。

※ 第2項に記載した行動内容がScope1,2の削減に資する場合は、Scope1,2の削減に関して以下に示します。

a.	グリーンケミカル
削減対象	Scope 3（カテゴリ1）
目標年度	2030年度
基準年度	2019年度
目標削減率	30%
削減目標における選択対象の位置づけ	既存商売における石化由来原料の置き換えを前進、また新規商売におけるバイオ材の提案を積極的に行うことで、当社トータル削減目標の一部を担う

b.	次世代型太陽電池の開発
削減対象	Scope 3（カテゴリ11）
目標年度	2030年度
基準年度	2019年度
目標削減率	30%
削減目標における選択対象の位置づけ	新たに始まる新発電製品事業のサプライチェーンに介在することで、ゼロベースからのGHG削減に貢献。当社商売拡大とともに削減貢献量拡大、削減目標実現（Scope3Cat1削減にカウントは不可も）に向け重要な取り組み

5.GX製品の社会実装促進に向けた目標の設定

当社は、前項に掲げた削減目標に基づき、以下の時間軸・定量的目標に沿って、第1項で選択したGX製品・技術及びそれらから派生するサービスの社会実装に貢献します。

a.	グリーンケミカル
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

b.	次世代型太陽電池の開発
目標年度	
定量的目標	
選択対象に関する定量的目標の概要	

6.適用範囲

当宣言は、以下の範囲まで適用されます。

適用範囲	自社単体

当社は、この宣言に基づいてGX価値を評価し、GX製品の早期の社会実装に貢献することで、サプライチェーン全体でのGXを推進してまいります。

2026年10月21日

豊通ケミプラス株式会社

カーボンニュートラル推進室長　山田　泰正